

環境経営レポート

第6版・令和6年度版



菊池川

対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和7年6月発行

※このレポートは、上記の期間の取組み結果をまとめたものです。

1. 組織の概要

1.1 有限会社 きんかい

代表取締役 大久保あすか

1.2 所在地・連絡先・施設

・本社：〒865-0055 熊本県玉名市大浜町800

・資材・機材置場： 熊本県玉名市大浜町2535

電話：0968-76-1388 FAX：0968-57-8233 E-mail：kinkai@arrow.ocn.ne.jp

・ホームページ：<https://kinkai-group.com/>

1.3 事業内容（認証登録範囲）：全活動

一般廃棄物・産業廃棄物・医療系廃棄物収集運搬事業、土木工事業、解体工事業

1.4 事業規模・処理実績（令和元年度）：従事者数

資本金 1000万円

従事者数：11人（令和7年3月31日現在）

廃棄物収集運搬 売上 96,991（千円）・運搬量：産廃 3,722（t）・一廃 715（t）

土木・解体工事 売上 136,647（千円）・受託件数：50（件）

1.5 設立年・事業会計年度：

1972年（昭和47年）10月28日設立

期首4月1日 期末3月31日

1.6 許可：

許可の種類	都道府県	許可番号	許可・有効期限
一般建設業	熊本県知事	（般一25）台17599号	令和6年2月10日～ 令和11年2月9日

産業廃棄物収集運搬業許可

許可の種類	都道府県	許可番号	許可・有効期限
産業廃棄物収集運搬業	熊本県	第04300004386号 積み替え保管は含まず	令和4年3月1日～ 令和9年3月22日
（許可品目） 紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）			

許可の種類	都道府県	許可番号	許可・有効期限
特別管理廃棄物収集運搬業	熊本県	第 04350004386 号 積み替え保管は含まず	令和 5 年 6 月 23 日～ 令和 10 年 6 月 22 日
(許 可 品 目) 感染性廃棄物、廃油（引火点が 70℃未満のものに限る。）廃酸（水素イオン濃度指数が 2.0 以下のものに限る。）廃アルカリ（水素イオン濃度指数が 12.5 以上のものに限る。）廃石綿等			
産業廃棄物収集運搬業	福岡県	第 043000004386 号 積み替え保管は含まず	令和 6 年 3 月 17 日～ 令和 11 年 3 月 16 日
(許 可 品 目) 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、（以上 3 品目については、自動車破砕物を除く。）燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、動植物性残さ、鋳さい、がれき類、ばいじん、（廃プラスチック類、木くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。）以上 14 品目			
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	福岡県	第 04050004386 号 積み替え保管は含まず	令和 6 年 3 月 17 日～ 令和 11 年 3 月 16 日
(許 可 品 目) 廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類であるものに限る）廃酸（水素イオン濃度指数が 2.0 以下のものに限る。）廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限る。）感染性産業廃棄物 廃石綿等			
産業廃棄物収集運搬業	佐賀県	第 04101004386 号 積み替え保管は含まず	令和 2 年 12 月 24 日～ 令和 7 年 12 月 23 日
(許 可 品 目) 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、鋳さい、がれき類及びばいじん並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）以上 15 種類（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。）			
特別管理産業廃棄物収集運搬業	佐賀県	第 04151004386 号 積み替え保管は含まず	令和 2 年 12 月 25 日～ 令和 7 年 12 月 24 日
(許 可 品 目) 廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類であるものに限る。）廃アルカリ（水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限る。）感染性産業廃棄物、廃石綿等			

一般廃棄物処理業許可

許可種類	許可者	許可番号 事業の範囲・区域	許可・有効期限	許可品目
一般廃棄物 収集運搬業	玉名市・玉名市 長 令和 4 年 10 月 24 日	玉市環指令第 13 号 玉名市内	令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 8 年 5 月 27 日	事業系一般廃棄物 (可燃ごみ、金属 類、ガラス類、資源 ごみ、粗大ごみ)
一般廃棄物 収集運搬業	玉東町・玉東町 長 令和 4 年 4 月 12 日	第 96 号 玉東町一円	令和 4 年 5 月 1 日 ～令和 9 年 4 月 30 日	事業系一般廃棄物
一般廃棄物 収集運搬業	長洲町・長洲町 長 令和 4 年 10 月 17 日	長洲町指令第 360 号 長洲町全域	令和 4 年 10 月 1 日 ～令和 8 年 9 月 30 日	事業系一般廃棄物
一般廃棄物 収集運搬業	南関町・南関町 長 令和 4 年 5 月 23 日	—————	令和 6 年 6 月 1 日～ 令和 8 年 5 月 31 日ま での 2 年間	事業系一般廃棄物 に限る
一般廃棄物 収集運搬業	和水町・和水町 長 令和 4 年 2 月 15 日	和水税住第 2332 号	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日	事業活動により生じ た一般ごみ

※廃棄物の収集運搬業では、積み替え保管はしておらず、排出事業者様先で収集した廃棄物を処理委託先まで運搬しています。なお、処理委託先及び収集運搬料金については、品目や量、収集場所等に応じて見積り書でお示しします。



1.7 廃棄物収集運搬車両

2t ダンプ-1 台 2t 貨物-2 台 3t アーム車-1 台 4t アーム車-2 台
 3t ダンプ-1 台 3t 貨物-1 台 4t ユニーク車-1 台
 4t ダンプ-1 台 3t パッカー車-3 台 軽自動車-2 台 計 15 台

1.8 受託した産業廃棄物収集運搬量（令和6年度・kg）

感染性	木くず	がれき類	廃プラ	ガラス 陶磁器	廃油 廃酸	石膏 ボード
127,972	83,290	184,260	57,371	54,971	1,155	17,600
石綿含有 廃棄物	汚泥	金属くず	繊維くず	混合 廃棄物	植物性 残さ	水銀使用 製品
3,720	330	4,571	2,570	4,100	4,360	184

令和6年度 合計 546,454 Kg

1.9 受託した一般廃棄物収集運搬量

令和6年度 合計 715,220 kg

1.10 認証・登録対象範囲

全組織・全事業

認証・登録番号 0012536 認証・登録日：2018年10月10日

2. 環境経営方針

企業理念：

継続は力なり！

1. 自然と産業の調和を意識しながら邁進してまいります
2. 一丸となって丁寧、迅速、安全に仕事に努めていきます。

環境経営方針：

1. 有限会社きんかいは、企業理念にもとづき事業を展開し、あらゆる種類の廃棄物運搬可能な企業として、発注者やお客様に満足いただきます。
2. 有限会社きんかいは、事業を展開するうえで地域の環境に十分配慮します。
3. 有限会社きんかいは、次の事項を重点取組として環境に配慮します。

重点取組：

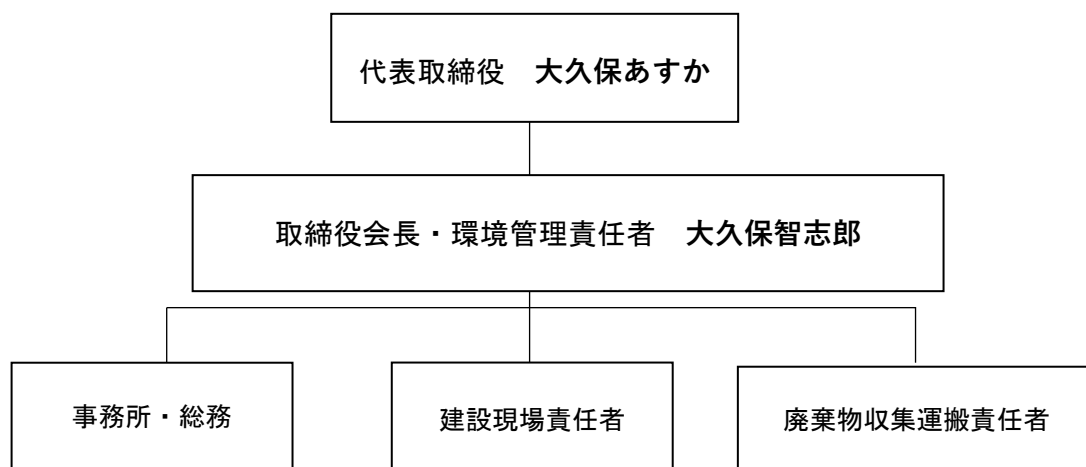
1. 無駄なく効率的なエネルギー（電気、化石燃料）利用に努めます。
2. 建設工事は、工期をまもり品質を確保し、周辺的生活環境に配慮します。
3. 廃棄物は適切に収集運搬するとともにリサイクル処理を推進します。
4. 適切な水使用と節水に努めます。
5. 環境に配慮した重機車両の購入を推進します。
6. 環境に関連する法律等を遵守します。
7. 環境理念と環境経営方針、重点取組を全従業員に周知し、一丸となって取組み環境経営の継続的改善を図ります。
8. 地域貢献の一環として清掃活動を行います。
9. 女性の積極的雇用を行います。

重点取組について補足

1. 二酸化炭素排出量を把握し、その削減に取り組む。
2. 工事施工計画にもとづき施工し、工期をまもり環境を保全する。
3. 廃棄物持込先等リサイクル関係情報をお客様に提供する。
4. 事業活動全般において、防塵等必要な水を適切に使うと同時に節水に努める。
5. 工事施工及び廃棄物収集運搬において、関係法令等の遵守状況をチェックする。
6. 朝礼や会議、教育の場を通して周知し、取組み状況や結果を把握し、改善する。

有限会社 きんかい
代表取締役 大久保 あすか
制定 平成 30 年 1 月 5 日

3. 実施体制



役 割	責 任	権 限
代表取締役 (大久保あすか)	経営の結果責任 環境経営の結果責任	環境管理責任者の任命 環境経営の実施を環境管理責任者に指示 環境及び経営理念・方針決定 人事・資本投下の決定
環境管理責任者 (大久保智志郎)	環境経営の結果責任	環境経営システムや方針等策定 環境経営の実践を全従業員に指示
事務所・総務責任者	事務所における環境経営の 実践	左記の推進に関する指示
建設現場責任者	建設現場における環境経営 の実践	左記の推進に関する指示
廃棄物収運責任者	廃棄物収集運搬における環 境経営の実践	左記の推進に関する指示
エコアクション 21 の 展開・全従業員	関係する各業務におけるエコアクション 21 の実践	

4. 中期環境目標 (2024～2027 年度)

	目標項目	単位	2020 年度 (R2) (実績基準)	2024 年度 (R6) 目標 基準年度比- 1%	2025 年度 (R7) 目標 基準年度比- 1%	2026 年度 (R8) 目標 基準年度比- 1%	2027 年度 (R9) 目標 基準年度比- 1%
	電力使用量削減	kWh	4,130	4,089	4,048	4,007	3,967
	CO2 排出係数 0.48	(kg-CO2)	1,982	1,962	1,942	1,923	1,904
	軽油使用量の削減	L	28,760	28,472	28,187	27,905	27,626
	CO2 排出係数 2.624	(kg-CO2)	75,466	74,711	73,964	73,224	72,492
	ガソリン使用量の削減	L	3,981	3,941	3,902	3,863	3,824
	CO2 排出係数 2.322	(kg-CO2)	9,244	9,152	9,060	8,969	8,879
	総 CO2 排出量	Kg-CO2 (総量)	86,692	85,825	84,966	84,116	83,275
	売上高+1%	Kg-CO2 (百万)	137,00	138,370	139,753	141,150	142,561
	産業廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	80%以上	77	80	80	80	80
	節水	m ³	12	12	12	12	12
	一般廃棄物 (可燃) 排出量削減	t	722	715	708	700	693
	地域貢献 (資材・機材置場周辺の清掃)	回	2 回以上	2 回以上	2 回以上	2 回以上	2 回以上
	環境に配慮した施工の推進 (クレーム有の件数)	件	1	0	0	0	0
	車両・重機等の排ガス規制対応機種、低騒音型建設機械の導入	—	グリーン商品購入の推進				

九州電力 2022 年度調整後排出係数 : 0.479kg-CO₂ 使用

5. 環境経営計画と実施状況

実施状況：○できた

△：不十分

×できていない

—非該当

	目標項目	取組内容（具体的活動）	事務所	工事現場	収集運搬
1.1	軽油使用量の削減	・エコドライブ推進 ①急発進・急ブレーキの抑制 ②信号停車時のアクセル抑制 ③空気圧チェック ・重機運転時のエンジン低回転運転	— — — — —	○ ○ △ ○ ○	○ ○ ○ △ —
1.2	ガソリン使用量の削減	・エコドライブ推進 ①急発進・急ブレーキの抑制 ②信号停車時のアクセル抑制 ③空気圧チェック	○ ○ ○ ○	— ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
1.3	電力使用量の削減	・無駄な照明の消灯 ・パソコンからの不要なプリント削減 ・エアコンの適温設定 ・エアコンフィルター清掃（4月、12月） ・昼休憩の時の主電源オフ ・現場事務所の節電	○ ○ △ △ ○ ○	— — — — — —	— — — — — —
1.4	LPG使用量の削減	・事務所LPGの節約 ・LPG車の効率的運転	— —	— —	— ○
2	自社排出産業廃棄物のリサイクル率向上の推進	・現場廃棄物分別の徹底 ・リサイクルできる処分業者の選択	— —	○ ○	○ △
3	節水	・台所流し場での節水（節水ラベル掲示） ・洗車時の節水 ・容器清掃時の節水 ・粉塵発生防止の適切な水使用	○ ○ — —	— ○ — ○	— ○ ○ —
4	地域貢献（資材・機械置場周辺の清掃）	・資材・機材置場周辺の清掃（1回、4月実施）	○	△	○
5	SDGsの登録目標（女性従業員の雇用）	熊本県が力を入れているSDGsに目を向け取り組む。熊本県認証登録を目指す。	○	△	—

6. 2024 年度環境経営目標と実績

目標項目	単位	2024 年度 目標	2024 年度 実績	目標 達成率%	実績評価 (その要因など)
CO ₂ 排出量の削減	Kg-CO ₂	85, 825	93, 700	91	工事等の件数と収運の増加に伴い CO ₂ 排出量が大幅に増加
軽油使用量の削減	L	28, 472	33, 296	85	工事等の件数増加に伴い使用量増加
ガソリン使用量の削減	L	3, 941	2, 340	100	目標達成
電力使用量の削減	k W h	4, 089	5, 840	70	年々気温が上昇傾向にあり冷房の電気使用が多くなった為目標達成出来なかった
L P G 使用量の削減	Kg	24. 12	2. 35	-	ガス仕様車途中廃車の為実績がとれない
売上高	131, 60	138, 370	233, 639	100	目標大幅に達成
産業廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	80%	80	90	100	リサイクル率を維持周知が行き届いている成果がでた。
節水	m ³	12	12	100%	節水の継続は達成
地域貢献(資材・機材 置場周辺の清掃)	回	1	2	100%	地元地域活動へのボランティア参加
環境に配慮した施工の推進 (クレーム有の件数)	件	0	1	-	工事前の近隣対策の周知と配慮が十分ではなかった。今後の課題
車両・重機等の排ガス 規制対応機種、低騒音 型建設機械の導入	-	ハイブリッド仕様の冷凍冷蔵車の購入			

※是正処置の基準 目標達成率 100%以上○/ 100～70%未満△/ 70%未満×是正措置

7. 取組結果の評価及び次年度の取組み

- ① 電気使用量については、年々気温上昇に伴い冷房の使用量も増加傾向。
冬場は温暖化の影響もあり暖冬が続く暖房の使用量は削減。しかし全体では目標を下回る事が出来なかった。暖房器具のスイッチ ON/OFF の徹底。月 1 回の掃除も徹底する。
- ② 年 2 回エアコンフィルターの掃除の実施。年 2 回を担当者を決め当番制にして実施。
- ③ ガソリン使用量については目標達成。アイドリングストップの実施、急発進、急加速をしないよう注意喚起をした結果ではないかと思う。
- ④ 軽油については目標を達成出来なかった。(工事・収運等の件数が増加した為ではないかと思われる) 急発進・急停車を減らし燃費の持ちをよくするよう皆に周知する。運搬経路の確認など無駄な走りが多かったと思われる。
- ⑤ LPG 使用料についてはガス仕様のパッカー車が途中故障し修理不可能な為廃車となる。そのため実績がとれなかった。
- ⑥ 女性雇用の増員達成。引き続き継続していく。
- ⑦ 事務所改装改築の際、積極的に木造建築の推進を図り、地元活性発展の為地元業者を活用する。
エコアクション 21 の継続・SDG s の継続を従業員に認識させる。

8. 環境関連法規等遵守状況の確認・評価・違反・訴訟・苦情

下記環境関連法規等を遵守している事を確認した。

環境関連法規名	遵守内容
廃棄物処理法	委託契約書、マニフェストの交付、回収、照合
リサイクル法	排出者に分別の徹底周知、廃棄物の減量化
建設リサイクル法	事前調査、リサイクル指定品目の搬出先の確認、届出書類等の掲示
家電リサイクル法	リサイクル券の発行、回収、照合
小型家電リサイクル法	パソコン、携帯電話等、資源有効利用の為、分別化、
騒音規制法	低騒音型建設機械の使用、85 デシベル以下、官公庁届出
振動規制法	低騒音型建設機械の使用、55 デシベル以下、作業工程作業時間の見直し
大気汚染防止法	石綿障害予防規制、事前調査、官公庁届出、作業実施内容の掲示
労働安全衛生法	労働者の安全と健康管理の確保、年 1 回健康診断、年 2 回石綿健康診断

9. 代表者による全体の評価と見直し

- 1 エコアクション 21 に加え 2022 年 9 月熊本県 SDG s 認証登録の継続。
この活動を進めていく。
- 2 環境経営計画の実施状況（実施状況×の場合）の問題是正。（実施状況△の場合）原因究明
- 3 環境経営目標の達成状況（概ね 70%未満を是正処理の対象とする。）

No	項 目	見直指示
1	環境経営方針	引き続き環境に配慮した車両の導入の見直し
2	環境経営目標	廃棄物のリサイクルの向上、リサイクルできる処分業者の選択重視に心掛ける。
3	環境経営計画	ふんわりアクセル（e スタート）で燃費向上していく。 運搬経路の確認、無駄のない走りに心掛ける。 重機・車両の点検整備の徹底を呼び掛けていく。
4	実施体制	事務所・総務責任者が 2 人体制となる。

令和 7 年 3 月 31 日

有限会社きんかい代表取締役 大久保あすか